

科 目 名	心理療法技法論
単 位	2
教 員 名	大浦 真一
授 業 概 要	<p>この授業では、心理療法の理論の理解と対人援助のために必要な知識とスキルの獲得を目指す。</p> <p>まず、カウンセリングの基本姿勢についての基礎的知識を学び、必要に応じて実習を行うことを通して相手の話を受容的に聴く練習を行う。次に様々な心理療法の理論を学習し、それぞれの理論に則ったカウンセリングについて、時にロールプレイを交えながら学習する。</p>
授業の目的・ 到達目標	<p>本講義は、次に掲げる目標の達成を目指す。</p> <p>1) 相手の立場に立って話を聴けるようになる。</p> <p>2) カウンセリングの基本的なスキルを用いて心理相談が出来る。</p> <p>3) 各心理療法の理論を理解できる。</p>
授 業 計 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス</li> <li>2. 対人援助における基礎知識</li> <li>3. 上手な話の聴き方：基本姿勢と非言語的反応、傾聴</li> <li>4. 精神分析</li> <li>5. 行動療法・認知行動療法①</li> <li>6. 行動療法・認知行動療法②</li> <li>7. 来談者中心療法</li> <li>8. ブリーフセラピー①</li> <li>9. ブリーフセラピー②</li> <li>10. 評価シートを用いたカウンセリング</li> <li>11. 身体を通じた心の援助（概論：心と身体の関係）</li> <li>12. 身体志向の心理療法①</li> <li>13. 身体志向の心理療法②</li> <li>14. その他の心理療法とその理論</li> <li>15. まとめ（心理療法の理論・技法を実生活に活かす）</li> </ol>
予 習・復 習	授業で配布されたプリントをしっかりと読み込んで、各心理療法の理論について理解を深めることが必要である。
成績評価の基準	授業への参加態度・実習への取り組み（リアクションペーパーへの回答を含む）30%、定期試験 70%
教 科 書	特になし。資料を配布する。
参 考 書	適宜紹介する。

備 考・その他	
---------	--